



聖マリア学院同窓会会報

Vol. 30

編集発行人／聖マリア学院同窓会

発行所／〒830－8558

久留米市津福本町422番地

印刷／小野高速印刷(株)

発行：令和7年8月吉日

ごあいさつ

学校法人聖マリア学院 同窓会会長
神代 明美（1科10回生）

同窓生の皆様、ご無沙汰しております。令和6年度より同窓会会長を務めています。聖マリア看護専門学校1科10回生の神代でございます。

聖マリア学院は創立50年を超えました。半世紀にわたり、多くの優れた仲間を輩出してまいりましたことは、地域の看護及び介護に貢献してきた皆様の努力の賜物です。心より感謝申し上げます。

近年、同窓会への入会者が減少傾向にあり、また大学も少子化の影響などから学生数の減少などの課題に直面しております。この状況を「同窓会の未来への形」を考える機会と捉え、改めて卒業生や地域の皆様とつながる場として同窓会の意義を見つめ直す必要があると考えています。

同窓生の皆様が実習のほとんどを行った聖マリア病院では、病院と聖マリア学院大学で、3年前より「ユニフケーション」という取り組みが始めました。これは、臨床の最前線で活躍する看護師が、2年間大学の教員として出向する制度であり、教育と現場をつなぐ新しい挑戦です。学生にとっては実践的な学びを、病院にとっては実習指導力の向上を期待できればと考えています。

卒業生の皆様には、ぜひ同窓会の活動にご参加いただき、次世代を育てる力となつていただければ幸いです。ご協力お願い致します。

同窓生の皆様、お忙しい日々をお過ごしのことと思います。会報の前号が発行された2023年はコロナ終焉の時期であり、また聖マリアグループにとっては聖マリア病院開設70周年、聖マリア学院開学50周年の記念すべき、希望に満ちた年でした。それからわずか2年の間で、世界中が、また皆様が働いておられる医療の現場でも2024年診療報酬改定により経営不安定な病院は70%に及ぶなど、世の中は大きく揺れ動いております。2025年、聖マリア学院大学も変革の年となりました。今年度の聖マリア学院の動向をお知らせします。まず、前年度3月末をもって井手三郎先生が病氣療養のために理事長、学長を退任されました。理事長として井手悠一郎先生（井手三郎先生のご長男）、学長として片野光男先生のご就任が4月1日の理事会にて承認されました。井手三郎先生の長年の学院へのご功績に対する感謝と、新体制のもと聖マリア学院のますますの発展を共に祈りください。また、4月より看護師の

2025年聖マリア学院 大学変革の年！

学校法人聖マリア学院 学院長
井手 信

ごあいさつ

聖マリア学院大学 理事長
井手悠一郎

昨年度末に三郎先生が理事長を退任され、今年度から、私が理事長を務めさせていただきます。私がおります。井手一郎先生、道雄先生、信先生、三郎先生から受け継いだ大切な大学を、これからも守っていきけるよう誠心誠意、尽くして参りたいと思います。皆さま、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、同窓会の会報ということで、この度は、本学大学院についてお知らせさせていただきます。大学院は、平成22年度に開設され、今年で16年目を迎えます。これまでに85名の方が修士号の学位を取得され、病院や大学などにおいて新たなキャリアを開拓し、活躍されております。開設されているコースには、修士論文コースおよび専門看護師コースがあり、領域ごとの学修（修士論文コース24単位、専門看護師コース40単位）および研究

（修士論文コース8単位、専門看護師コース2単位）を通じて、研究者・教育者、専門看護師の育成に取り組んでおります。また、科目等履修制度もあり、全ての大学院科目を1科目から受講することが可能ですし、1年かけて研究手法を学び、研究計画書の作成を行う履修証明プログラムも開講しております。修士号の取得を目指しておられる方はもちろん、学び直しとして久しぶりに講義を聴講してみたいと考えておられる方や、研究に挑戦してみたいけれどもハードルが高いと感じておられる方等があられましたら、ぜひ各制度をご活用ください。

今回、大学院の雰囲気や少しでも感じていただけたらと思います。同窓会の皆様限定で講義を一部公開いたします。この機会に、ぜひご視聴いただけると幸いです。なお、動画視聴に際し、簡単なアンケートを設けさせていただいております。大学院のさらなる発展のために、皆様のお声を聞かせていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後、本学が卒業生の皆様に貢献できることを、心から願っております。



アンケートはこちら

あなたがして欲しいように、 他の人にもそのようにしましょう

聖マリア学院大学学長

片野 光男

本年4月より、伝統ある聖マリア学院大学に赴任しました片野光男でございます。同窓会の皆様、このような挨拶の場をお作りいただき心より感謝申し上げます。私は、34歳の時、家族揃ってカトリックの洗礼を受けることができました。それ以後、「社会のより良い道具」となれるよう「全てを信じ、受け入れ、愛し、

希望する」ことのできる心の背骨を鍛え続けることを意識して生活しています。

話は、前後しますが、父の、教師が医者になって欲しいという言葉があり、兄は教師へ、私は医学へ進みました。1973年、九大医学部を卒業し第一外科に入局、選んだ研究テーマは手術で治すことのできない「癌

性腹膜炎患者さんの治療法開発」でした。結果、私の外来は手術できた患者さんと手術できなかった患者さんが行き交う場となりました。この方々との関わりを通して、「全て（死）を受け入れる」「不完全な選択を認める」という思いが生き方の基本となりました。

2015年に九大医学部を定年退官し、福岡女学院看護大学の学長を10年間務め、本年より聖マリア学院大学の学長を務めさせていただく事になりました。皆様に組織運営について少しお話ししたいと思います。礼

儀正しい清潔な身なりの学生・教職員が小路を行き交い、建物の中では、廊下の端を颯爽と歩いている爽やかな大学作りに努めたいと思います。

提案です。「志高く、身を整え、敬を持ってキャンパスの門をくぐりましょう。門をくぐる時は、空を見上げるようにしましょう。大きなものだけでなく小さなものも見えてくるようになるはず。そして、門を入ったら、心の時間軸を長めに調節し直しましょう。昨日までの悩みは小さくなり、今日からの目標が見えてくるようになります。

ます。そして、道や建物の中では、顔を上げ、中央ではなく端をさっそうと歩きましょう。自分が何故・何のためにここにいる、どこに向かうかとしていて、どこに向かうかとなるはず。私は、学生・教職員が「何のための大学であるか」ということを意識しながら日々成長を自覚できるように大学作りに励みたいと思います。私は皆様に信じます。皆様も、私を信じ、

一丸となって聖マリア学院大学の理念・志を通して社会貢献を実践するという目標に向かって邁進しましょう。

私が職責を全うするための強い背骨を鍛える努力を怠りませんように。

皆様の上に主の平安が注がれますように。

アーメン。



第47回 聖マリア学院同窓会総会【開催報告】

令和6年7月14日（日）、第47回聖マリア学院同窓会総会を開催いたしました。令和元年以来、5年ぶりの開催となりました。

一昨年、聖マリア学院は創立50周年、当初の設立母体である聖マリア病院は創立70周年を迎えました。これを記念して「聖マリア研究センター」が完成し、1階には「使徒ヨハネ井手一郎ホール」が設けられました。

今回の総会は、この記念すべき会場にて執り行うことができました。

特別講演では、「聖マリア病院の過去・現在・未来について」をテーマに、聖マリア研究センター長・聖マリア病院副院長の福田賢治先生にご講演



いただきました。病院の歴史を振り返るとともに、生命倫理についても深く考えることができた、非常に意義深いひとときとなりました。

また、会場前のエントランス「ホワイエ」では、参加された同窓生の

皆様と懇談を交えながら会食を楽しみ、聖マリア病院を紹介する映像も鑑賞しました。懐かしさと温かさに包まれた、和やかな時間となりました。

今後、聖マリア学院同窓生として、「愛の精神」を胸に、それぞれの立場で使命を果たしていくことを願っております。

第48回 聖マリア学院同窓会総会【書面開催】

同窓会総会は、令和元年以降、2年毎の開催となっております。本年度（令和7年度）は、書面での開催となります。

報告事項

令和6年度活動報告

- 4月 入学式出席
- 5月 評議委員会出席 会計監査（令和5年度）
- 6月 役員会 同窓会総会準備
- 7月 同窓会総会
- 8月 役員会 同窓会総会反省会
- 10月 召命のつどい（参列なし）
- 役員会 第30号会報 Facebookの検討
- 後期校納入時に入会金の振り込み用紙送付

- 12月 役員会 新規役員へ申し送り
- 1月 役員会（三役のみ）
- 同窓会会則公示の件、Facebookの閉鎖
- 2月 役員会 同窓会会則公示、Facebookの閉鎖を報告

- 3月 インスタグラムへ情報掲載方向
- 役員会 第30号会報について
- 卒業式出席
- 評議委員会出席
- Instagramについての打ち合わせ

令和6年度決算報告別表1

審議事項

議案1 令和7年度活動計画

- 4月 入学式出席 第30号会報について
- 役員会 インスタグラムについて
- 5月 評議委員会出席 会計監査（令和6年度）
- 役員会 第30号会報について
- 6月 役員会 第30号会報について
- 7月 役員会 第30号会報 仮印刷
- 8月 役員会 第30号会報 発行
- （同窓会への寄付金納入用紙同封）
- 9月 役員会
- 10月 役員会
- 11月 役員会 新旧交代
- 12月 役員会 次年度計画 第48回同窓会総会について

- 1月 役員会 第48回同窓会総会について
- 2月 役員会 第48回同窓会総会について
- 3月 卒業式出席
- 評議委員会出席
- 役員会 第48回同窓会総会について

議案2 令和7年度予算別表2

同窓会新役員

会長

神代 明美（1科10回生）

副会長

古賀 由紀（短大4回生 助産4回生）

梅野 知恵（短大14回生）

野中 美香（短大8回生）

吉岡亜里沙（大学13期生）

藤本 麻衣（短大18回生）

荒津 実穂（大学8期生）

櫻井 涼太（大学6期生）

山崎 晃嗣（大学12期生）

千住 祐介（介護9回生）

佐藤 祥（大学9期生）

中川 梓（大学11期生）

石井 和弘（聖マリア学院大学）

令和6年度決算【別表1】

期間：2024年4月1日～2025年3月31日

前年度繰越	2,636,774	次年度繰越	2,937,869
総収入金額	1,148,204		
総支出金額	847,109		

収入内訳

項目	予算	決算	増減	備考
入会金	1,000,000	220,000	△780,000	令和6年度入学生62名中22名入金 終身会費10,000円/人
総会参加費	200,000	188,000	△12,000	参加者50名（来賓3名除く47名）会費4,000円/人
祝い金	0	5,000	5,000	総会にて
雑収入	32	628	596	利息
寄付金	0	734,576	734,576	2020年4月1日～2024年12月15日分（小野高速印刷）とりまとめ入金
合計	1,200,032	1,148,204	△51,828	

支出内訳

項目	予算	決算	増減	備考
総会費用	800,000	707,109	92,891	講師謝金、来賓・参加者（飲食・景品）
会議費	88,000	66,000	22,000	会議8回開催：5/28(11名)、6/25(11名)、8/27(7名)、10/30(9名)、12/11(7名)、1/22(4名)、2/26(9名)、3/25(8名)
会報30号発行	0	0	0	今年度会報発行なし
学院記念行事	120,000	64,000	56,000	入学式（お祝い・お花）、卒業式（お祝い・お花）
事業費	0	0	0	
雑支出費	0	10,000	△10,000	2025年度 入学式お祝い事前準備
合計	1,008,000	847,109	160,891	

監査報告 会計監査の結果、金銭出納帳・領収書綴りに間違いありません。

令和7年3月31日

監査人

片原美香 斉藤由香

令和7年度予算【別表2】

期間：2025年4月1日～2026年3月31日

前年度繰越	2,937,869	次年度繰越	2,828,806
総収入金額	730,000		
総支出金額	1,008,000		

収入内訳

項目	前年度決算	予算	増減	備考
入会金	220,000	730,000	510,000	令和7年度入学生 73名予定
総会参加費	188,000	0	△188,000	総会開催なし
祝い金	5,000	0	△5,000	総会開催なし
雑収入	628	0	△628	利息
寄付金	734,576	0	△734,576	
合計	1,148,204	730,000	△418,204	

支出内訳

項目	前年度決算	予算	増減	備考
総会費用	707,109	0	707,109	総会なし
会議費	66,000	104,000	△38,000	会議8回開催予定（役員13名）
会報30号発行	0	1,000,000	△1,000,000	会報発行費用
学院記念行事	64,000	120,000	△56,000	入学式・召命の集い・卒業式・お祝い・お花
事業費	0	0	0	
雑支出費	0	0	0	
合計	837,109	1,224,000	△392,291	

■ 終身会費の納入について

卒業生の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。皆様は、卒業と同時に同窓会の正会員であり、会費（終身）として10,000円を納入して頂いております。しかしながら、卒業時に同窓会入会と会費の納入についてお願い申し上げましたが、恐れながら現在まで未納になっております。同窓会の終身会費は会報の作成・発行、同窓会総会の実施のみならず、母校及び在校生にも貢献する財源であります。何卒同窓会活動をご理解いただき、終身会費の納入にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

拝啓、日差しもいよいよ本格的になり、夏の訪れを感じる季節となりました。

同窓会の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

聖マリア学院同窓会は、今年52年目を迎えました。今年も聖マリア学院同窓会会報（第30号）をお届けすることができましたことを大変嬉しく思います。

新型コロナウイルスも5類の位置づけとなり、待望の総会を井手一郎ホールにて開催することができました。総会の様子を皆様にご覧いただきたいと思い、記事掲載させて頂きました。近況や懐かしい思い出を通じて、聖マリア学院を思い出していただければ幸いです。どうぞ熱中症などには十分お気を付けて、元氣にお過ごしください。

敬具



聖マリア学院大学のInstagramへのQRコード

寄付金のお願

時下ますますのご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より聖マリア学院の運営、発展のために深いご理解と多大なご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。聖マリア学院同窓会では、「愛の精神」を未来へ受け継ぐため、後輩支援や記念事業など様々な活動に取り組みしております。これらの取り組みを継続・発展させるため、基金へのご協力をお願い申し上げます。皆様からのご寄付は、奨学支援や教育環境整備・同窓会交流事業などに活用させて頂きます。未来につながる暖かいご協力を心よりお願い申し上げます。

★個人情報について

聖マリア学院同窓会では個人情報保護法を遵守し、個人情報同窓会活動、母校の振興と発展に寄与すること以外には一切使用しません。